

**早速！** カーボンニュートラルに向けて自社でできる取組を探してみよう！

**STEP 0 しる！**  
**カーボンニュートラルとは何かを知ろう！**



エネこれ  
(経済産業省)



脱炭素ポータル  
(環境省)



中小規模事業者向けの  
脱炭素経営導入ハンドブック  
(環境省)

**STEP 1 はかる！**  
**自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算してみよう！**

**計算例**

電気使用量	<input type="text"/>	kWh/年 × 0.000441* tCO <sub>2</sub> /kWh =	<input type="text"/>	tCO <sub>2</sub> /年
都市ガス使用量	<input type="text"/>	千Nm <sup>3</sup> /年 × 2.23 tCO <sub>2</sub> /千Nm <sup>3</sup> =	<input type="text"/>	tCO <sub>2</sub> /年
灯油使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.49 tCO <sub>2</sub> /kl =	<input type="text"/>	tCO <sub>2</sub> /年
重油(A重油)使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.71 tCO <sub>2</sub> /kl =	<input type="text"/>	tCO <sub>2</sub> /年
ガソリン使用量	<input type="text"/>	kl/年 × 2.32 tCO <sub>2</sub> /kl =	<input type="text"/>	tCO <sub>2</sub> /年

\* 電気事業者別排出係数 特定排出者の温室効果ガス排出量算定用 令和3年度実績 (R5.1 公表)の“代替値”を使用。  
 電力の排出係数は、電源構成に基づき各電力会社により異なるため、より正確な数値を知りたい方は下記サイトでお確かめください。  
 電気事業者別排出係数一覧  
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/denki>

\* 下線部は排出係数を示す。  
 その他自社で使われている燃料の排出係数が知りたい方は下記サイトでお確かめください。  
 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧  
[https://ghg.santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran\\_2020\\_rev.pdf](https://ghg.santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf)

**STEP 2 へらす！**  
**CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めよう！**



省エネポータルサイト  
(経済産業省)




再エネスタート  
(環境省)


これらの取組を、スタートしませんか？

**STEP 3 つづける！** **自社のカーボンニュートラルへ！**

**その他施策情報はコチラ**




カーボンニュートラル関連・施策マップ  
経済産業省のカーボンニュートラル関連施策について、「取組内容(省エネ診断や設備導入)」、「支援対象者」、「公募時期」などの情報をわかりやすく掲載しています。




脱炭素化事業支援情報サイト(エネ特ポータル)  
環境省の地球温暖化対策に関する補助・委託事業を紹介しています。  
絞り込み検索や、キーワードを入力しての事業検索ができます。ぜひ一度お試しください。


**取組事例をチラ見！**



関西企業等の取組事例  
(近畿経済産業局)



ひろがるカーボンニュートラル  
(環境省)



SHIFT事業CO<sub>2</sub>削減事例集  
(環境省)

**▶ 配布元** ※自由にご記入ください

**▶ 発行元/問い合わせ先** 令和5年3月発行



経済産業省  
近畿経済産業局



環境省  
近畿地方環境事務所

大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館  
 新エネルギー推進室  
 電話：06-6966-6055  
 bz1-kin-smaene@meti.go.jp

大阪市北区天満橋1-8-75 桜ノ宮合同庁舎4F  
 地域脱炭素創生室  
 電話：06-6881-6511  
 CN-Kinki@env.go.jp

企業のみならず

# カーボンニュートラルって

何なん?!

はじめの一步 Ver.2

いちも取り組まないといけない理由って



自社技術を活用した新事業への展開



競争力強化 知名度や認知度向上



資金調達に対する優遇



人材獲得力の強化

# カーボンニュートラル達成に向けた取組ステップ

STEP 0

## 知る！ カーボンニュートラルとは何かを知らう！

カーボンニュートラル(CN)とは？

温室効果ガス※1の排出を全体としてゼロにすることを意味します。

※1 大気を温める特性をもった気体の総称。中でも二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が大半を占めるため、地球温暖化対策ではCO<sub>2</sub>削減に関するものが多い。



日本では？

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて日本では「2050年までにCNを目指す」ことを宣言しています。



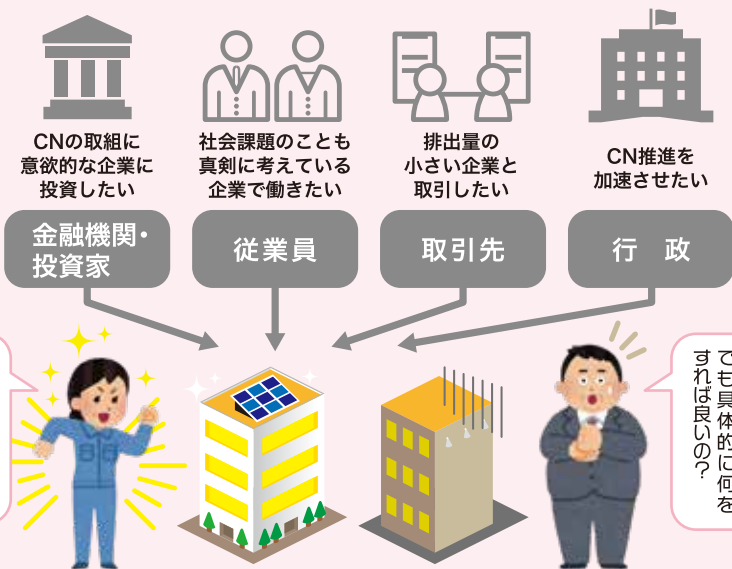
### 自社をとりまく環境変化を知ろう！

何が起きているのか？

大企業のみならず、全ての企業が、周囲の様々な関係者から、CNに向けた取組が強く求められています。

今後どうなる？

特に大企業を中心に、取引先の排出量まで含めたCNを目指す企業が増加しているため、このまま何も取組を始めなければ、将来的に今の取引先から取り引きされなくなる可能性も出てきます。



STEP 1

## はかる！ 自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算してみよう！



どうやって計算するの？

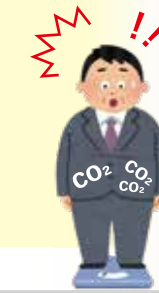
毎月のエネルギー使用量(燃料や電気)と、それぞれに設定された排出係数※2を掛け合わせることで、自社のCO<sub>2</sub>排出量を計算することができます。

※2 1単位あたりの活動量から排出されるCO<sub>2</sub>の量を求める係数。

Point! 毎月のエネルギー使用量が把握できれば、算定ツールを活用してすぐに計算可能

Point! 自治体や商工会議所等の団体が実施している省エネ診断等を積極的に活用

▶ 自社のエネルギー使用量を正しく把握することで、CO<sub>2</sub>削減方法が見えてくる!



STEP 2

## へらす！ CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めよう！



どうやって減らすの？

STEP1で得られた自社のCO<sub>2</sub>排出状況を元に、どの部分にCO<sub>2</sub>削減の余地があるかを検討し、CO<sub>2</sub>削減効果の大きいものや、取り組みやすいことから優先的に実施します。

Point! CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けては、多種多様な取組の中から自社にあったものを検討し、組み合わせることで実施

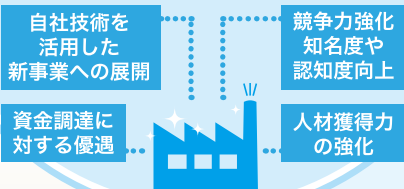
省エネ	再エネ	燃料転換・電化	環境価値の購入
高効率機器の導入や運用改善でエネルギー消費量を削減 例) ●LED照明の導入 ●機械の運転時間短縮	太陽光発電機器の導入・利用や再生可能エネルギー由来の電力の購入 例) ●自家発電・自家消費 ●小売電気事業者との契約(再エネ電気メニュー)	温室効果ガスの排出量ができるだけ少ないエネルギーに転換 例) ●重油ボイラーを都市ガスボイラーへ転換 ●ガソリン車をハイブリッド車や電気自動車へ転換	温室効果ガスの排出量を排出しないという価値そのものを購入し自社の削減量としてカウント 例) ●Jクレジット制度 ●非化石証書

▶ CO<sub>2</sub>削減の取組を進めることで、ランニングコストの削減に繋がる可能性も!



STEP 3

## つづける！ 自社のカーボンニュートラルへ!



カーボンニュートラルの取組を自社の戦略や経営計画に位置づけることで、他社との差別化や自社のPRにつながります。

金融機関においても、企業のカーボンニュートラルの取組を後押しする動きが進んでいます。

Point! CO<sub>2</sub>を削減すると経営面からも様々なメリットが得られる

Point! 世界的な流れを受けてESG投資※3が拡大

※3 投資家や金融機関が環境などの要素を考慮して行う投資のこと。

▶ カーボンニュートラルの取組を推進することで、新たなビジネスチャンスに繋げよう!

